



障害者理解にかかる全体計画

道徳授業地区公開講座	第1学年 各教科及び生活科（高齢者との交流）
パラスポーツへの取組	第2学年 各教科及び生活科（他者理解）
日常の取組	第3学年 各教科及び総合的な学習の時間（地域）
◇オリンピック・パラリンピック教育 ◇学級経営 ◇学習環境	第4学年 各教科及び総合的な学習の時間（障害者理解）
◇ぐるさんタイム	第5学年 各教科及び総合的な学習の時間（環境）
◇ぐるさんタイム	第6学年 各教科及び総合的な学習の時間（国際理解）



目指す児童像

様々な立場の人の存在や、その人の気持ちを自分事として捉え、自分から行動できる子ども

- (1) 障害の特性や障害のある人の生き方を知るとともに、高齢者、外国人など様々な立場の人や自分を含めた周りの人、一人一人の理解を目指す。
- (2) 障害のある人や様々な立場の人に対して、自分とは関係がない存在、または支援してあげる存在と捉えるのではなく、自分とつながっている存在と捉え、共に生きていくうとする態度を育てる。

低学年

互いのよさや違いに気付き、みんなで助けあって活動できる子ども

中学年

障害について知り、自分にできることを考え、行動できる子ども

高学年

障害のある人や様々な立場の人の気持ちに寄り添って、主体的に行動できる子ども